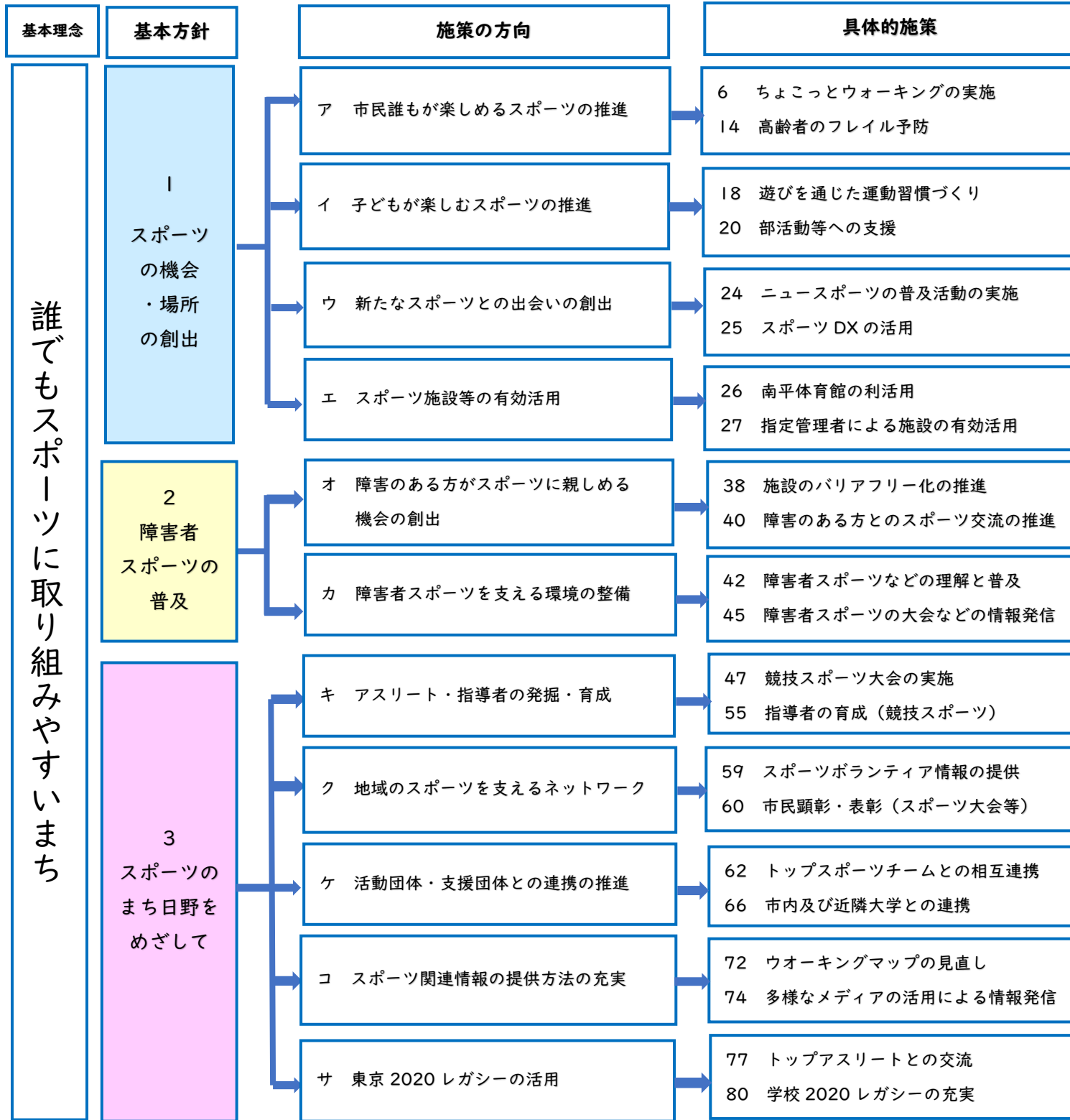


●●● スポーツ推進施策の体系図 ●●●

これからのスポーツ活動は、健康を意識し、市民一人ひとりの自主的・主体的な取組を尊重するとともに、市民・地域・行政が協働して推進することが基本となります。

日野市では、市民の健康・スポーツ活動の活性化と地域スポーツ社会の形成を目指し、3つの基本方針ごとに施策の方向を定め、その下に具体的施策を結びつけています。それぞれの課題解決・目標実現に向け、今後事業を展開していきます。（※下記の具体的施策については、施策の一部を載せています。）



「第2次日野市スポーツ推進計画」

発行：日野市

編集：日野市産業スポーツ部文化スポーツ課

〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1

電話：042-514-8465 FAX：042-581-2516

E-mail：sports@city.hino.lg.jp

第2次日野市スポーツ推進計画【概要版】

日野市では、年齢や性別、障害の有無などに関わらず、全ての市民が個々の関心・適性等に応じてスポーツ推進に主体的に取り組むことのできる環境の実現を目指し、令和5年3月に「第2次日野市スポーツ推進計画」を策定しました。本計画の計画期間は、令和5年度から令和9年度までの5年間となります。

●●● 計画におけるスポーツの意義 ●●●

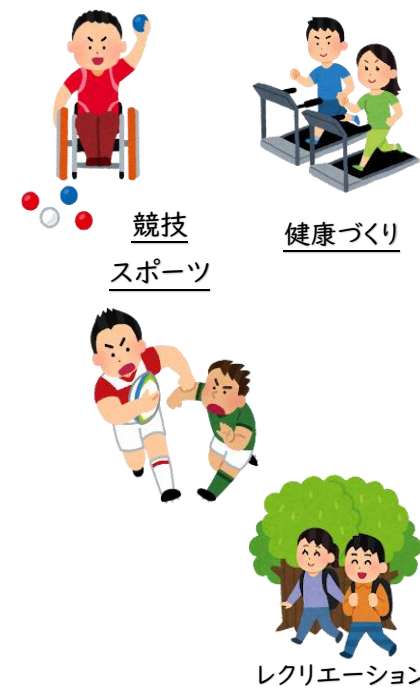
スポーツには、自ら行うスポーツ「する」スポーツやスポーツ観戦など「観る」スポーツに加え、ボランティアとして大会運営に関わるなど「支える」スポーツという3つの要素があり、個人の志向に応じた多様かつ長期的な関わり方ができます。

スポーツの推進により、個人の体力向上や健康維持・増進などの個人的効果、医療費の抑制やスポーツツーリズムなどの経済的効果、青少年の健全育成やコミュニティの再生などの社会的効果など、多面的な効果が期待されます。

●●● 計画における「スポーツ」の定義 ●●●

第2次日野市スポーツ推進計画では、第1次計画に引き続き、野球やサッカーのような競技スポーツはもちろん、ハイキングやキャンプなどのレクリエーション、体操やウォーキングなどの健康づくりや仕事・家事の合間などのちょっとした運動を含む、体を使った運動すべてを「スポーツ」と捉えることとします。

スポーツを「する」



スポーツを「観る」



スポーツを「支える」




*年齢・性別・障害の有無に関係なく、すべての市民がそれぞれのライフスタイルに応じて楽しむことができる
「する」「観る」「支える」すべてのスポーツを「スポーツ活動」と捉えます

●●● 日野市のスポーツにおける「現状」 ●●●


本計画の策定にあたり、市民のスポーツ活動の実態、スポーツへの意識を把握するため、令和2年に「日野市スポーツ推進計画に関するアンケート調査」を実施しました。併せて、関連団体にもヒアリングをおこない、日野市のスポーツ環境のさまざまな現状がわかりました。以下は、その調査の結果の内容を抜粋したものです。

<成人の調査結果> ※20歳以上の市民が対象(令和2年に調査をおこなったため、成人を20歳以上としています)


1 Q.この1年間に行ったスポーツや運動は？
A.「ウォーキング・散歩」が**71.0%**
⇒前回の調査から**22.7%UP**



2 Q.スポーツや運動を主にどのような場所で行っているか？
A.「道路・遊歩道」が**49.1%**
⇒前は「公共スポーツ施設」が最も多い。コロナの影響も含めて変化が...?




3 Q.この1年間にスポーツを支える活動に関わったか？
A.「関わらなかった」が**77.6%**
⇒スポーツを「する」に比べて「支える」割合は低い状況に...




<子どもの調査結果> ※日野市内小学5年生及び中学2年生の各校1クラスの児童・生徒とその保護者が対象


4 Q.体育の授業以外でスポーツや運動をしている日数どのくらいか？
A.「週に1~2日」が**31.3%**
⇒メディアの利用時間が増えているものの、スポーツも一定時間確保!



5 Q.スポーツや運動をしていない理由は？
A.「スポーツや運動が好きではないから」が**70.3%**
⇒スポーツや運動を好きになってもらう取組が必要!



6 Q.この1年間にスタジアム・体育館・浴道などで実際にスポーツを観戦したか？
A.「観戦しなかった」が**47.1%**
⇒コロナで、会場へ行くことを迷われた方も多いのでは...



●●● 日野市のスポーツにおける「課題」 ●●●

日野市のスポーツ環境の現況を踏まえて、今後重点的に取り組んでいくべきと考える課題は以下のとおりです。

■「する」スポーツの課題

- ・身近で気軽にできるスポーツ環境の支援や整備
- ・子どもや子育て世代など、スポーツを楽しむ好きになる機会の創出
- ・市内老朽施設の改善・整備、スポーツ施設の在り方の検討など



■「観る」スポーツの課題

- ・「観る」ことでスポーツを好きになってもらう機会の創出
- ・スポーツで活躍する市民を応援する機会の創出
- ・市内のトップスポーツチームとの連携と共創



■「支える」スポーツの課題

- ・スポーツボランティアや競技スポーツ指導者の育成
- ・活動団体や支援団体との連携の推進
- ・市民がスポーツに関する情報を容易に得られるための情報提供の整備



●●● 計画の目標 ●●●

(※数値の表記は、「現在値⇒目標値」を示しています)

| 目標1 | 成人の週1回のスポーツ実施率を**58.4%**⇒**70%**に!

⇒週1回以上のスポーツ実施率が、東京都の掲げる世界トップレベルの70%となることを目指します。

| 目標2 | 成人の週複数回のスポーツ実施率を**72.2%**⇒**80%**に!

⇒スポーツ実施率の更なる向上を目指して、目標1のうち、週に複数回の実施率が80%となることを目指します。

| 目標3 | 市内体育施設の年間利用者数を約**95万人**⇒約**100万人**に!

⇒市内体育施設の更なる時間的・空間的活用を図り、利用者数の増加を目指します。

| 目標4 | 市内で実施されるスポーツ事業への参加者数を約**9万人**⇒約**13万人**に!

⇒市主催の市民ニーズに沿ったスポーツ事業を積極的に実施し、参加者数4万人の増加を目指します。

●●● 計画の基本方針 ●●●

本計画では、上記の計画目標を実現するために、「する」「観る」「支える」全てのスポーツに関する具体的な取組の柱となる基本方針を以下のとおりに定めます。

<スポーツ推進の基本施策>

1、スポーツの機会・場所の創出

身近で取り組めるスポーツの需要が高まっているという現状を踏まえて、市民誰もがそれぞれのライフスタイルにあったスポーツ活動を行えるよう環境を整備していきます。



2、障害者スポーツの普及

障害の有無に関わらず、市民誰もがスポーツに参加できる環境を整備するとともに、障害者スポーツへの関心を高め、その裾野を広げていくための取組を行っていきます。



3、スポーツのまち日野をめざして

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会によって高まったスポーツの機運を継承しながら、スポーツを通して市民誰もが日野の魅力や活力を感じられるようなまちを目指します。

